

# 学校だより

平成30年度 第3号  
平成30年4月24日(火)



総社市立秦小学校

ありがとうございました

## 授業参観、PTA総会、学級懇談会

4月20日(金)、今年度初めての授業参観を行いました。大勢の保護者の皆様に参観していただき、ありがとうございました。授業参観後、PTA総会を体育館で行いました。スムーズな議事進行ですべての議案が承認されました。平成29年度の役員の皆様には、大変お疲れ様でした。

その後、各学年に分かれて、学級懇談会を行いました。学校とPTAは車の両輪にたとえられます。秦小学校の教育活動ならびに子どもたちのために、両方の輪が同じ方向を向いて、同じ力で進められるよう、PTAの皆様のご支援ご協力を改めてお願いいたします。



## 修学旅行の見直し

修学旅行の見直しについて、PTA総会で説明させていただきました。ここでもう一度要点を整理しておきます。

### ①実施時期の見直し(5月→9月)

現在、9月に実施している運動会を5月に変更し、それともなって、修学旅行を現在の5月から9月に変更したいと考えています。修学旅行は新本小学校と合同で実施していますので、新本小学校でも時期の変更を検討していただいています。

### ②見学地の見直し(USJ→他の見学地)

現在、修学旅行2日目に、USJ(ユニバーサル・スタジオ・ジャパン)に行っていますが、これを他の見学地に変更したいと考えています。理由の1つめは、修学旅行の目的の1つである「社会科などで学習したことから、実際に見学して理解をさらに深める。」にふさわしいかということです。また2つめは、多くの時間とお金がかかるということです。USJには約5時間滞在し、入場料も他の施設に比べてとても多くかかります。総社市内の小学校もUSJから他の見学地に変更し、今では秦小学校と新本小学校ぐらいです。

そこで、変更先としては東映太秦映画村や大阪城などを検討しています。変更は来年度(今の5年生)から考えています。



## いじめ防止基本方針

平成25年9月に、国において「いじめ防止対策推進法」が施行されました。これを受けて秦小学校では、これらの内容を踏まえ、「学校いじめ対策基本方針」を作成し、全ての児童が安心して充実した学校生活を送ることができるよう、保護者及び関係者との連携を図りながら、学校全体でいじめの防止と早期発見に取り組むとともに、いじめが疑われる場合は、適切かつ迅速に対処し、さらにその再発防止に努めることができるように体制を整えています。

「いじめ防止対策推進法」では、いじめを次のように定義しています。

いじめとは、児童生徒に対して、同じ学校に在籍しているなど一定の人間関係にある他の児童生徒が行う心理的または物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む。)であって、**当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの**をいう。

(いじめ防止対策推進法 第2条)

例えば、次のようなものがあります。

- ・冷やかしやからかい。 ・悪口。 ・集団による無視。
- ・物を隠される。 ・軽くぶつかられる。
- ・遊ぶふりをしてたたかれたり、けられたりする。
- ・ネット上での誹謗中傷。

秦小学校では、昨年度いじめは認知していません。しかし、いじめはどの子どもにも起こりうる問題と考え、まず、いじめの起こらない学校づくりに努めています。また、いじめの早期発見や解決にも、学校全体として取り組みたいと考えています。

## 家庭の協力が不可欠 ~保護者の皆様へ~

ご家庭でも「いじめ」について話し合う機会や、お子様が相談しやすい雰囲気づくりに努めていただくとありがたいです。また、すぐに学校(担任)に相談していただき、保護者の皆様と連携を密に取りながら、お子様を守り、「いじめ」の解決に努めていきます。どんなことでも相談していただきたいと思います。



## 秦っ子見守り隊

「秦っ子見守り隊」ボランティアに新たに次の2名の方が加わってくださり、合計9名の地域の方が子どもたちの登校に付き添ってくださっています。子どもたちも安全に、安心して登校できています。どうぞよろしくお祈りします。

家庭配付用には  
記載しています。

## 全国・県学力学習状況調査

4月17日(火)全国学力学習状況調査(6年生)、岡山県学力学習状況調査(3~5年生)が実施されました。

調査内容は、次の通りです。

- ①教科に関する調査(国語・算数)【3~6年生】
- ②質問紙【5年生・6年生】

この学力調査では、子どもたちの現在の学習達成状況を教科ごとに確認します。そして、定着できているものとできていないもの、こういった学習内容が得意、苦手なのかを把握し、日々の学習活動に生かしていきます。その分析した結果を学校としてどのように改善していくか計画的・長期的に考える基にもなります。

調査結果の活用にあたっては、結果の分析により、明らかになった成果や課題を調査対象学年だけでなく、学校全体で共有し、日々の授業改善や今後の学力補充の具体的な手立て等に活用します。

今回も自校採点を行いました。これは正式な結果がくるまでに、自校で採点を行い、成果や課題を明らかにすることで、早めに手立てを打つためです。自校採点から見えてきた秦小学校の課題は、次のような内容です。

国語では漢字と条件作文の正答率が低い結果となりました。漢字では特に送り仮名まで求められる書き取りや同音異義の漢字を問われるものに課題があることが分かりました。条件作文とは、「〇〇にふさわしい言葉を用いること」「本文から取り上げて書くこと」など与えられた条件に沿って作文をすることです。

算数では基礎基本の定着を大切にしてきた結果、少しずつ力をつけてきた感じがします。しかし、普段取り組んでいるドリル等の学習ではあまり取り扱わないグラフの読み取り、式の意味や円周と直径の関係などの概念を問うものや、国語と同様に条件に沿って説明をするような問題に特に課題が見られました。

## 放課後学習サポート事業

本年度も「放課後学習サポート事業」が県から市教委を通じて通知がきました。今年度は1年生と2年生を対象に、水曜日の放課後に実施します。詳しい内容は、後日、お配りします案内をご覧ください。昨年度は14名の保護者・地域の皆様登録してくださり、子どもたちの補充学習の指導にあたっていただきました。

多くの皆様の登録をお待ちしています。

